

山口県報道懇話会との懇談会

と き 平成 29 年 11 月 29 日 (水) 18:55 ~ 20:05

ところ ホテルかめ福「紅梅の間」

[報告 : 常任理事 今村 孝子]

医師会と報道関係者との相互理解のため、本年度も標記懇談会を開催した。

河村会長の開会挨拶の後、山口県報道懇話会幹事である毎日新聞社山口支局からご挨拶をいただき、その後、出席者による自己紹介を行った。

意見交換

本会から、①中村理事が「AI と医療について」、②沖中常任理事が「医師の労働時間の制限と地域医療への影響について」それぞれ説明した。これらの説明を受けて報道懇話会側から意見をいただき、その後、活発な議論が行われた。

①については、厚労省の作成した「保健医療分野における AI 活用推進懇談会報告書」に沿って、1) ゲノム医療、2) 画像診断支援 (放射線画像、病理、内視鏡、皮膚科・眼科・超音波)、3) 診断・治療支援 (検査・疾病管理・疾病予防)、4) 医薬品開発、5) 介護・認知症、6) 手術支援、の 6 項目について、AI 活用の現状や今後の

活用方法について説明した。

②については、「働き方改革実行計画」での、罰則規定を設けた時間外労働の上限設定における医療現場の問題点としては、医師は応召義務があるため、2 年間の猶予期間があるとはいえ、人的資源、財源が現状のままでは医療体制の維持は不可能であること、また一方では、医師の使命感で成り立っている今のシステムを変えなければ安全な医療の確保が困難になることなどがあり、まずは実態を広く国民と共有する必要があることを説明した。報道機関側からは、報道の仕事も突発で緊急性の高いことが多く、類似した問題点があるなどの意見があり、「働き方改革」の実行の困難さを共有した形となった。双方にとって関心の高い議題であり、活発な意見交換がなされた。

①での議論に多くの時間を費やしたため、②について議論する時間が不足したが、今後、医療現場での問題点が明確になった頃、再度議論してみたい内容である。

出席者

報道懇話会

朝日新聞社山口総局
エフエム山口編成制作部
共同通信社山口支局
時事通信社山口支局
中国新聞社防長本社編集部
テレビ山口報道制作局
日本経済新聞社山口支局
NHK 山口放送局放送部
毎日新聞社山口支局
山口朝日放送報道制作局
山口新聞社山口支社
山口放送山口支社
読売新聞社山口総局

県医師会

会 長 河村 康明
副 会 長 吉本 正博
副 会 長 濱本 史明
常任理事 弘山 直滋
常任理事 萬 忠雄
常任理事 藤本 俊文
常任理事 今村 孝子
常任理事 沖中 芳彦
理 事 中村 洋
理 事 山下 哲男